

1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>「家族、大切な人と交流が図れ、地域社会の一員として生活を送れる暮らし」と理念を有し、地域社会の一員としてその人らしく満足した生活を送れるように支援していくことを事業所の理念に掲げています。</p>	<p>理念に基づき広く地域へ貢献し、今年度は第一回夏祭りを開催し地域の方との交流を楽しみました。今後も入居者様が地域の中で暮らせるよう支援してゆきます。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>職員が常に意識できるよう居間に理念を提示した。更にグループホームの今年度目標やユニット目標とその取り組みの具体策を成文化し、日常的にも確認し合い、実践に向けて取り組んでいます。又、名札に理念を入れ日々携帯し確認をしています。</p>	<p>今後も理念の共有を深め、より細やかな実践に向けた取り組みをしていきたいと思ひます。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>ホーム便りなどを通して、日々の活動・行事・生活・介護のあり方などに取り組んでいます。</p>	<p>町内会回覧にホーム便りを載せたり、地域の高齢者共同住宅等地域の方と交流する機会を設け、理解してもらえるよう取り組んでいます。今後も内容を深め継続したいと思ひます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>朝夕の出勤時、退勤時、外出時など隣近所の方へのご挨拶をし、理解を深めるように努めています。</p>	<p>隣近所の方に、ホームの行事など来て頂けるよう町内会回覧に載せたりしてありますので今後も継続したいと思ひます。又、高齢者住宅、近隣の幼稚園、小学校とも今後、交流を図ってゆきたいと思ひてます。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地域への回覧板にホーム便りを入れさせていただき、又夏祭りで交流を図っています。</p>	<p>区民センター、コミュニティーセンター等の活動に参加し地域の方と交流する機会を設け、理解してもらえるよう取り組んでいきたいと思ひます。</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地域の高齢者への貢献については、町内会の行事などを通し、パシフィック町内会の方々の婦人部から参加を頂き楽しみました。</p>	<p>夏祭りを開催し皆様に楽しんで頂きました。今後も継続し地域の高齢者の方や皆様に活気・元気を提供したいと思ひます。</p>

3. 理念を実践するための制度の理解と活用

7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>評価の項目と内容は何を意図しているのかをそれぞれの立場で見つめ直し、何が出来てないのかを明確にし、改善に努めています。</p>		<p>評価の結果を検討しホームの回りは坂道が多いが季節、天気等をみながら散歩、ドライブを実施してます。冬は大型商業施設等に出かけ気分転換、開放感を味わえるよう計画をしています。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議ではホームの報告だけにとどまらず、運営推進構成員から意見・要望を受けて、発展的に今後役に立つ向上へ活かしています。</p>		<p>今後も運営推進会議において意見や助言を頂き、地域に密着したサービスやケアの質向上を目指した取り組みをすすめていきたい思います。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市町村で行われる研修の参加などで、連携がとれるようにしているが、一時、職員の退職等で現場の職員数確保が優先の為研修の機会が少なかった。</p>		<p>取り組んでいく事を検討していきたいと思います。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部研修等で権利擁護を学習した職員は、職場に於いて伝達講習として、他の職員対象に報告会を開き、全職員が同じ認識行動を意識し、入居者さまのケアにあたるようにしています。</p>		<p>職員も制度について今後も学ぶ機会を設けたいと思います。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>関連施設での学習会参加と職員ミーティングを行い、虐待防止について努めています。管理者の責務として、これからも細心の注意を払い、防止に努めます。</p>		<p>職員一人ひとりが意識と自覚を高め防止に努めています。</p>
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は時間をかけ説明を行い、質問にも安心していただき同意を得ています。退居による契約解除も同様に説明と同意と選択に心掛けています。</p>		<p>契約書を交わす際、相手の理解を確認しながら契約致します。</p>

13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様の意見、愚痴等がある場合、不満、苦情に至る前に速やかに対応してます。</p>		<p>今後、苦情等発生した時、速やかに御本人、職員に確認をとり早急の改善を図りたいと思います。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>毎月、ご家族さまにお手紙にて報告、来訪時にも個々に合わせて対応を行っている。おこずかい預かり出納帳、レシート等は毎月郵送しており健康状態に問題があったり変化があった時などは電話で報告や相談をしています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関前に苦情箱をもうけ、いつでも意見が聞けるようになっている。又、ご意見に対しては、職員で話し合い改善できるようにしています。</p>		<p>アンケート方式で御家族等の御意見、不満等開示しており改善に努力をしており、今後も継続したいと思います。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日のミーティング時や職員会議やその都度、職員の意見や提案を聞き話し合っています。</p>		<p>今後も現場の意見を多く聞く機会を持ちたいと思います。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>行事・外出時など職員と話し合い、柔軟な勤務調整を行っています。</p>		<p>今後も状況に応じた勤務体制の変更、時間の変更を行っていきたいと思います。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>日頃より全職員が入居者さまと良好な関係が築けるよう心がけ、退職予定者の意向を早めに管理者が捉え、早期人員確保に努めています。</p>		<p>入居者様のダメージを最小限になるよう心かけたいと思います。</p>

5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>関連法人である老健施設主催の学習会への参加を義務付けスキルアップのための交流を図っています。又、研修参加者には、復命書の提出と伝達報告会を行い、研修報告書は全職員が閲覧できるようにしています。</p>	<p>今後も個人面談にて本人に意向を考慮し、個々の経験や目標に合わせて職員研修に参加、受講出来るようにしていきたいと思います。又資格取得の為のシフト、休み等を考慮してますので今後も継続したいと思っております。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>同事業者系列で和太鼓、ライヤー演奏会、勉強会等を通じて質の向上に努めてます。</p>	<p>今後、同事業者間で、職員同士の交流や学習会などを開きながら、質の向上に向けて努力していきたいと思います。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>個々のプライベートを大切に、休みの希望を出来る限り考慮できるよう公平にリフレッシュできるようにしています。</p>	<p>職員室に花や観葉植物を置き、ほっと安らげる環境づくりにしています。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>ホーム長は、職員学習会・会議に出席し、職員と話し合う機会をもっている。又、勤務状況を把握し、職員に目を配っています。</p>	<p>外部研修の勉強会の参加や、職員間での報告会、勉強会を強化し、スキルアップを図っていききたいと思います。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居される前の電話相談や、本人によるホーム見学にて雰囲気を感じてもらおう。又、本人と面談しよく傾聴しています。</p>	<p>相談時から利用して頂けるよう本人とゆっくり、お話ししてサポート出来るよう努力したいと思います。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>納得のいくまでホームを見学して頂き、その際お話を聞いている。電話でも相談・報告を行い不安を取り除けるように努力しています。</p>	<p>ご家族様の不安、困り事等傾聴し受け止めてゆきたいと思えます。</p>

25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前は、ご本人やご家族さまの意向や、現在の状態などのお話を伺い、ニーズの確認とアセスメントを管理者の他に看護職や関連法人の支援相談員と連携して入居検討を行い、見極めるようにしています。又、他のサービスの適応であれば連携事業所への紹介なども行っています。</p>		<p>今後の入居者さまの立場に立ったサービス利用の支援を行っていきたいと思います。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>本人が不安なく安心して頂けるように事前にホーム見学にて、生活空間や雰囲気を感じ取って頂き貰ったり、逆に職員が出向き馴染みの関係を持てるようにしています。状況に応じ体験入居の実施を行ってます。又老健の相談員と連携を取りながら必要なサービスを提供をしています。</p>		<p>今後も本人が安心して入居できるような場の雰囲気作りと、だんだんとけ込めるよう話し合いを行って行きたいと思います。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>どんな時でも入居者さまが主役となるように徹し、共に寄り添い支えあう関係づくりを築けるようにしています。</p>		<p>今後も入居者さまと職員は日々の生活を楽しみながら、お互いに支え合う関係をしていきたいと思います。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族には定期的に入居者さまの心身の状態などをお伝えしたり、行事に参加して頂いたりし、ご家族との絆を保てるためのパイプ役を職員が担い、一緒に支えて行くんだという気持ちを持ち続けられるようにしています。</p>		<p>本人をご家族さまと共に支えるように、本音で話し合えるような関係づくりを大切にしていきたいと思います。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>一人ひとりに応じた支援を行い、良い関係が持てるように支援しています。</p>		<p>ご家族さまのご来訪時は、近況報告を行いご家族さまと良い関係がもてるように努めたいと思います。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>お手紙代筆や電話対応など希望により行い、ご家族・大切な人との関係が途切れないよう支援しています。</p>		

31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者さま同士馴染みの関係ができるように、毎日午前のレクリエーションの提供、話題の提供をし、職員もコミュニケーションを図り交流を大切にしています。		入居者さま同士の助け合いや、交流の場をサポートし、仲間としての連帯感をもっていただけるようにしたいと思います。又、孤立している方には、職員がスキンシップを図り淋しい思いをしないような取り組みをしたいと思います。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	個人情報保護のこともあり、慎重に配慮する必要があると感じているが、退居されてもご家族に電話を入れ今の様子を伺ったり。又、いつでもホームに遊びに来れるような雰囲気をつくっています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で随時本人の希望を確認したり、困難な場合は、ご家族さまからの情報や生活歴などを参考にさせてもらっていますが、剣道がしたいという希望は難しく、まだ実現できていない事もあります。		本人の思いを大切にしたい暮らしになるようにミーティングなどで検討していきたいと思います。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の面談や、個別受け持ち担当者がセンター方式でアセスメントをして、職員間で情報の把握に努めています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の健康状態、表情、言葉などから心身の状態を把握し、一人ひとりの能力に合った生活の提供に努めています。		

2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人、ご家族の意向を大切に、介護支援専門員の指導の下で、担当職員が話し合い、充実した日々を過ごせるよう、その人に見合った介護計画を作成しています。</p>	<p>介護支援専門員の指導で、より良いケアに向け介護計画を作成しています。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>	<p>期間を設け、その都度介護計画の見直しを行い、新たな計画を作成しています。</p>	<p>状態変化に応じた支援ができるように介護計画の見直しを行い、新しい介護計画書の作成をしていきたいと思っています。</p>
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。</p>	<p>日々の様子やケアの実践を個別記録に記入し日々の問題点や改善策が生じた時は、カンファレンスを行い、実践や計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子を詳しく分かりやすく記録し、それを介護計画書に役立てています。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>	<p>本人の身体状況、ご家族さまの状況に応じて、できうる範囲で事業所の機能を活かした支援を行っています。</p>	<p>今後も理念、目標を生かしご家族、入居者様への柔軟な支援をしてゆきたいと思っています。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p>	<p>ボランティアに民謡、三味線、お化粧などで、おしゃれ心を深める支援を行いました。</p>	<p>ボランティア導入で生活の範囲を広げていただきたいと思っています。</p>

41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p>	<p>理容・美容室など定期的に出張にきてもらい、希望される入居者さまにおしゃれをしていただき、気分転換をされています。またライアー演奏会、和太鼓演奏会に行かれ楽しんでます。</p>		<p>今後、他のサービスの活用も取り入れたいと思います。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p>	<p>運営推進会議などで包括支援センター職員から意見をいただいています。</p>		
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>併設のクリニックが協力医療機関でもあり、かかりつけ医でもあるため、日常の健康管理や特定健診等を受けてます。クリニック休診日や夜間は日常の健康面を管理しているホーム専任の看護師がオンコール対応しています。又、訪問歯科診療により治療や指導を受けています。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>認知症専門医研修を終えたクリニック医師による診察やコンサルテーションを受け、状態悪化により、高度な専門機関を受診するタイミングを逸しないようにしています。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>土・日・祭・夜間はホーム専任の看護師が、週2日勤務の他に24時間オンコールとし、連絡可能な体制を整えています。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入居者さまが入院した時は、入院先の病院関係者と情報交換するように努めています。又、ご家族さまとも連絡を密にし、入居者さまが安心して入院できるようにしています。</p>		



47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>入居者さまが重度化してきた時は、できるだけ早い時期からご家族さまと話し合いをもち、かかりつけ医師や看護師を中心に個々に望む終末期ケアについて職員間で方向性を共有しています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>入居者さまが、重度化してきた時などは、グループホームでできること、できないことを見極め、クリニック医師からもご家族さまに説明をして頂いております。近隣の同法人の協力病院や老健とも入院や入所などの受け入れ相談ができる体制が整備されています。</p>		
49	<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>身体的理由でホームでの生活が困難になった場合は、ご家族様に事前説明を十分に行い、入居者さまのダメージや不安を、できる限り最小限に防ぐ事に努めています。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>入居者さまの戦後のご苦労があって、現在の生活があるんだという敬意、尊敬の心をもち、言葉掛けや対応をしていきたいと思えます。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>入居者様の目線でゆっくり・優しく・ゆったりとした気持ちで働きかけ、本人の意思を尊重した支援を行っています。</p>		<p>今後も入居者さまを中心としたケアにしていきたいと思えます。</p>

52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>入居者さまの意思を優先し、その人らしいペース・生活感を大事にして尊重しています。</p>	<p>今後とも本人の意思を出来る限り尊重しその方のペースを大切にしたいと思います。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>月1回訪問美容師・理容師が来てくれている。希望によっては、他の美容室に行くこともあります。好みの化粧品や身の回り品を把握し、必要に応じて補充しています。又、自分で髪をセットされる入居者さまへのお手伝いをしています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>一人ひとりに合ったお手伝いの出番を見つけ、職員とお話しながら、楽しい時間を持つように努めています。CD等、音楽を流しながらゆったりと食事をとれるよう努めています。</p>	<p>今後、テラスを利用してプランターで野菜作りをし食事に取り入れたいと思ってます。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>おやつ・飲み物は入居者様と一緒に買い物に出かけたり、状況に合わせて楽しんでいます。タバコは所定の場所にて喫煙していただき、本数制限にて楽しまれています。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>排泄板も使用し、一人ひとりの排泄パターンを把握、気持ちよくできる限りトイレで排泄していただくようにしています。パットを使用している方も必ずトイレ誘導を行っています。</p>	<p>一人ひとりの排泄間隔をつかみ適切なケアのもとで、安心した生活が送れるようにしていきたいと思っています。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>入居者様の希望を聞き、気持ちよく・落ち着いて・安全に入浴していただくようにしています。</p>	

58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>昼食後の軽い休息や、ソファー・小上がりでの休息など、一人ひとり状況に合った支援を行っています。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの趣味・嗜好・力に合ったお手伝いや体操、レクへの参加、などで楽しみを見つけるように支援しています。</p>		<p>毎日午前のレクリエーションの参加などその人らしい出番を見つけ、能力を引き出していきたいと思ひます。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金の所持管理ができる人は本人が管理しています。買い物時などの精算も支援しています。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>希望時の買い物は、できる限り希望をとれるようにしています。ご家族さまとの外出も積極的に支援し、歓迎しています。</p>		<p>ご家族さまも一緒に出かけれる参加出来る機会をつくりたいと思ひます。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>法人役員の自宅のお庭にさくらんぼの木があり「さくらんぼ狩り」を楽しんできました。</p>		<p>今後もご家族さま、大切な人との交流が図れる様に支援していきたいと思ひます。</p>
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>	<p>希望により手紙の代筆や、電話の応答を行っています。</p>		

64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>気軽に訪問ができるような、環境や雰囲気づくりを行い、ご家族さまもゆっくりくつろげるように配慮しています。</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束・言葉による拘束・その他の拘束がないか、職員会議や申し送り、ミーティングなどで話し合いを行い、拘束のないケアの取り組みをしています。やむえず行うとき、ご家族の了承の元、期限を決めて音センサーを活用しています。</p>		
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホーム内・居室などすべて鍵はかけていないケアを実践しているが、1階玄関は他施設と共同部分なので夜間のみ鍵をかけています。</p>		
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>職員の分かる場所に理念を掲げ、ミーティング時や日常的にも確認し合い、実践に向けて取り組んでいます。見守りの中、入居者さまは何処でも自由に行動ができるよう、常に様子を把握し、安全に配慮しています。</p>		<p>今後もアンテナを張って、毎日細心の注意を払っていききたいと思います。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>入居者さまの状態や行動に応じて、物品の配置を変えたり、洗剤・薬品などの安全保管管理に努めています。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>各ユニットに救急マニュアルを設置し、対応もできるよう訓練も行いました。又、事故が発生した場合は、すぐに会議を開き話し合いをし、今後同じ事がおきかないよう再発防止に取り組んでいます。</p>		

70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>毎月の職員会議で事故発生時の知識と対応を学んでいます。各ユニットに救急マニュアルを設置し、職員訓練も行いました。</p>		<p>今後も看護師の指導のもとで全職員が救急法を実践できるようにしたいと思います。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>年2回定期的に火災訓練を行っています。日中、夜間に火災が発生したことを想定した訓練を行い、消火器使用しての初期消火や通報訓練・避難誘導・搬出が確立されています。</p>		
72	<p>リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>状況に応じ、一人ひとりに起こり得るリスクについて、十分にご家族にお話し、少しでも抑圧感のない暮らしができるようにしています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>月一回の受診時にかかりつけ医の指示をいただいています。又、看護師が健康面の管理を行っています。職員は毎日バイタル測定を行い、体調の変化があった場合などは、看護師に相談しています。</p>		<p>健康面の看護アセスメントを看護師が行い、介護員も状態の変化・発見に努め、気づいた際には主治医や看護師へ情報提供を行い、早期発見、対応に努めています。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬の管理は、看護師がしています。月一回の受診時などで服薬の変更があった場合などは、職員全員に情報がいくようにファイル・ノートに記録しています。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>食事で繊維の多いものを取り入れたり、水分をなるべく多く取っていただく工夫をしています。又、ラジオ体操や廊下歩行の運動も取り入れ、下剤だけにたよらないようにしています。</p>		<p>水分摂取量の不足な入居さまには、個別に水分の重要な説明をしています。ゼリー、果物、飲み物など工夫した対応を行っています。</p>

76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行い、一人ひとりに合わせた見守りや介助を行い、口腔内の清潔保持に努めています。又、歯科受診が必要な方は訪問歯科受診をしています。</p>		<p>訪問歯科受診にて、口腔内リハビリなどを実施してもらっています。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日、食事量・水分量を一人ひとりチェックし記録に残しています。日々の状態に合わせた栄養・水分量のバランスが確保できるように支援しています。</p>		<p>一人ひとりの水分摂取、食事量を記載し把握しています。</p>
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染防止マニュアルは職員がいつでも活用できるようにファイルしています。職員が理解と対処できるための対策として特に正しい手洗いの仕方やグローブの着脱は基本をマスターできるように実技指導を老健の感染対策学習会で学んでいます。消毒薬や必要物品等もすぐに対応できるように一式にして常備しています。</p>		<p>出勤時は職員全員、うがいと手洗いを実施しますので今後も継続していきたいと思います。</p>
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>毎日の食器洗い後は、熱湯消毒をしています。冷蔵庫・調理器具も洗浄・消毒をおこない、食品は、賞味期限の確認をおこない管理に努めています。</p>		<p>衛生管理や新鮮な食材の利用など食中毒の予防に努めていきたいと思います。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>明るく広い、開放的な玄関に改築されました。防犯のためモニターも設置しています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>置物、飾り物、家具などで季節感や生活感を工夫しています。又、壁にディスプレイをして心地よい空間づくりをしています。</p>		<p>脱臭剤を居室に入れ室内全体の臭いについても配慮、工夫をしており今後も続けていきたいと思います。</p>

82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>小上がり、ソファ、椅子などそれぞれのお気に入りの物を置き、お気に入りの居場所をつくっています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅から馴染みの家具や置物、思い出の物をもってこれ、心地よく生活できるようにしています。</p>		<p>ご家族さまと相談された、一人ひとりの希望に沿った居室になっています。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>毎日換気を行い、各お部屋に設置して温度・湿度計を目安に温度調整を行っています。又、共同場所の消臭にも気を付けています。</p>		<p>冬場は暖房使用のため室内が乾燥され、細々な洗濯物を自室にほし乾燥調整を行っています。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。</p>	<p>安全に歩行が出来るように、手すりを設置しています。又、ひと休みが出来るように椅子も置き、安全を確保しています。</p>		<p>今後も長い廊下を活用し、廊下歩行訓練を行い身体機能の維持を継続したいと思います。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>ご本人、ご家族さまの了解を頂き、各お部屋入り口には、表札や写真を目線に合わせ飾り、自立して暮らせるようしています。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ベランダでは両ユニットで日光浴を兼ねて茶話会等を行い楽しんでます。</p>		<p>今後、プランターでミニトマト栽培等を行ったり外回は花を植えたり入居者さまと職員で一緒に行ないたいと思います。</p>

サービスの実績に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>ご来訪時や電話などでは傾聴し、困っている事や求めている事は遠慮なさらずなんでも話してもらい、より良い関係が継続するように努めています。ただ季節的(冬)は、外出する機会も減り入居者さまへの思い、願い、意向は届いていないと思います。しかし少しでも入居者さまの思いを育むように努めたいと思います。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>1日2回のお茶の時間や食事と一緒に食べ会話の場をつくっています。又、入浴時間や夜勤帯の時間も沢山お話を聞く事ができます。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>一人ひとり自由に生活をされています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>一人ひとりに合ったお手伝いとレクリエーションなどで能力を出して頂き、生き生きとした表情が見られます。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>希望により職員が対応しています。季節的(冬)に戸外に出る機会が減っているが、室内レクリエーションの充実を図っています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>主治医と看護師の連携体制・24時間オンコール体制がとれているので、安心して生活されています。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>日々の状況・要望に応じ適切な支援を行い、安心して生活をされています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない</p> <p>ご家族さまのご来訪時や電話などでは傾聴し、困っていることや求めていることは、遠慮されず話していただけるようにして、良い関係づくりに心がけています。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>ご家族さま、知人、お子さまのご来訪が多いです。気軽に来ていただけるような雰囲気づくりをしています。</p>



. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	運営推進会議で、町内会の行事への誘いなどいただき、少しずつつながりが広まってきたと思います。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	入居者さまの笑顔、満足された表情などを見て感じる事により、職員も共感し、喜びを持ち生き生きと働いていると思います。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	歩行器など使用の方がいらっしゃり、居間空間が狭く感じられます。サービスについては、おおむね満足されていると思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	ご家族さまから心あたたまのお言葉はいただきますが、本音はもっと希望される事が多いと思います。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

理念・目標に沿った支援を全職員が同じ方向性で実現に向け、毎日の生活の中で入居者さま一人ひとりに合った役割・出番を多く持ってもらい、入居者さまが生活の主役となるよう、生き生きと暮らしていただきます。又、入居者さまが孤独感・孤立感を抱えないよう職員は、入居者さまの毎日の生活を楽しく・優しく・安心した生活を送られるように努めています。又、御家族は気楽に御来訪され第2の家庭の様にくつろげる雰囲気作り、職員のキチンとした挨拶、笑顔で好感度を持てるよう努めてます。